

①「渇水レベル」とは

佐世保市の水事情に合わせて、渇水対策の諸段階を設定した本市独自の指標です。

レベル0 … 通常時

レベル1 … 初期警戒レベル。ダム温存の運用を行うとともに、気象情報等の情報収集を強化します。

レベル2 … 警戒レベル。渇水対策準備会議を設置し、河川取水の調整等を行います。

レベル3 … 渇水対策準備レベル。市民への注意喚起を行うほか、各渇水対策の準備を開始します。

レベル4 … 自主節水レベル。渇水対策本部を設置し、自主的な節水を行うよう呼びかけるなど、配水量の抑制を図ります。

レベル5 … 給水制限レベル。減圧給水制限・時間給水制限を段階的に開始します。

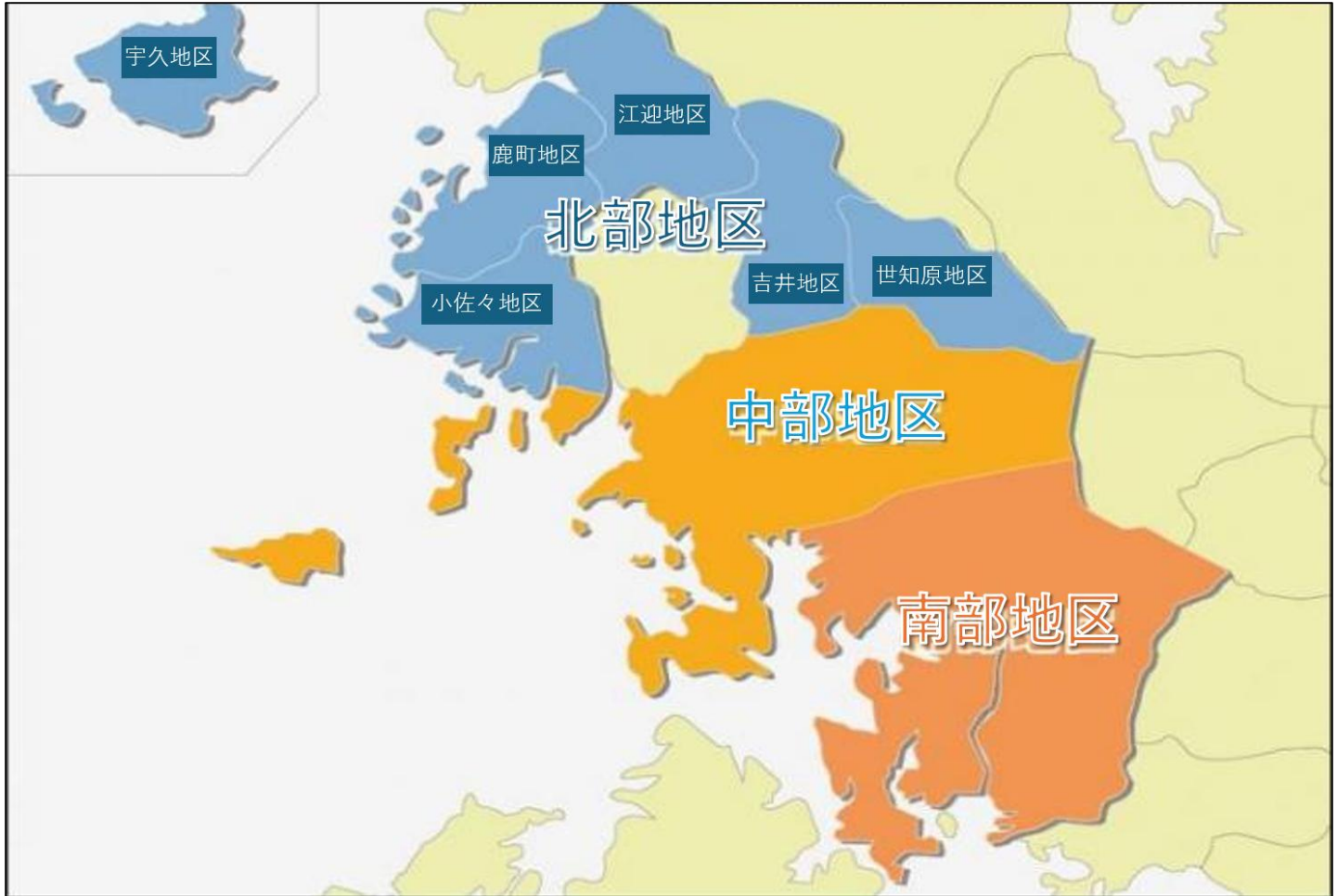
※市内の各水系毎にレベルを設定します。

②「水系」の違い

佐世保市内を大きく3つに分けて、旧合併町地区を「北部水系」、旧佐世保地区のうち概ね大和町付近以北を「中部水系」、同以南を「南部水系」と呼称しています。

基本的に、それぞれの水系は独立しています。また、北部水系は、旧町地区ごとに独立して整備されています。湧水レベルは、独立した配水系統単位で設定します。

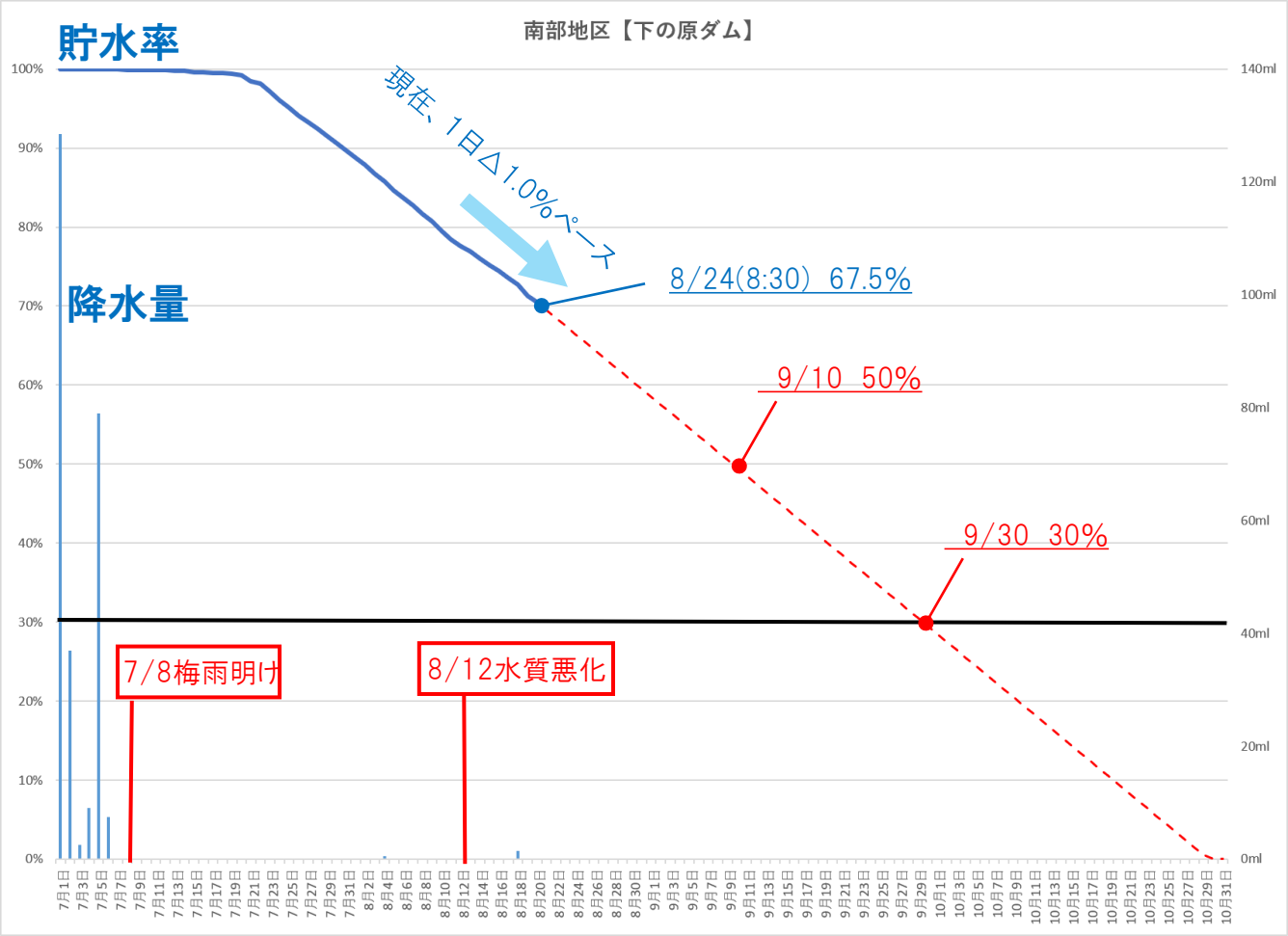
今回、節水(レベル4)の対象となるのは、旧佐世保地区(中部水系・南部水系)が対象です。



③南部水系(下の原ダム)の状況

南部水系にはダムは下の原ダムしか存在していません。

川棚川からの取水量の低下・停止により、ダム取水への負荷が高まったことに伴い、貯水率の低下が加速しており、現在の状況が続くと、9月10日頃には50%を下回る見通しです。



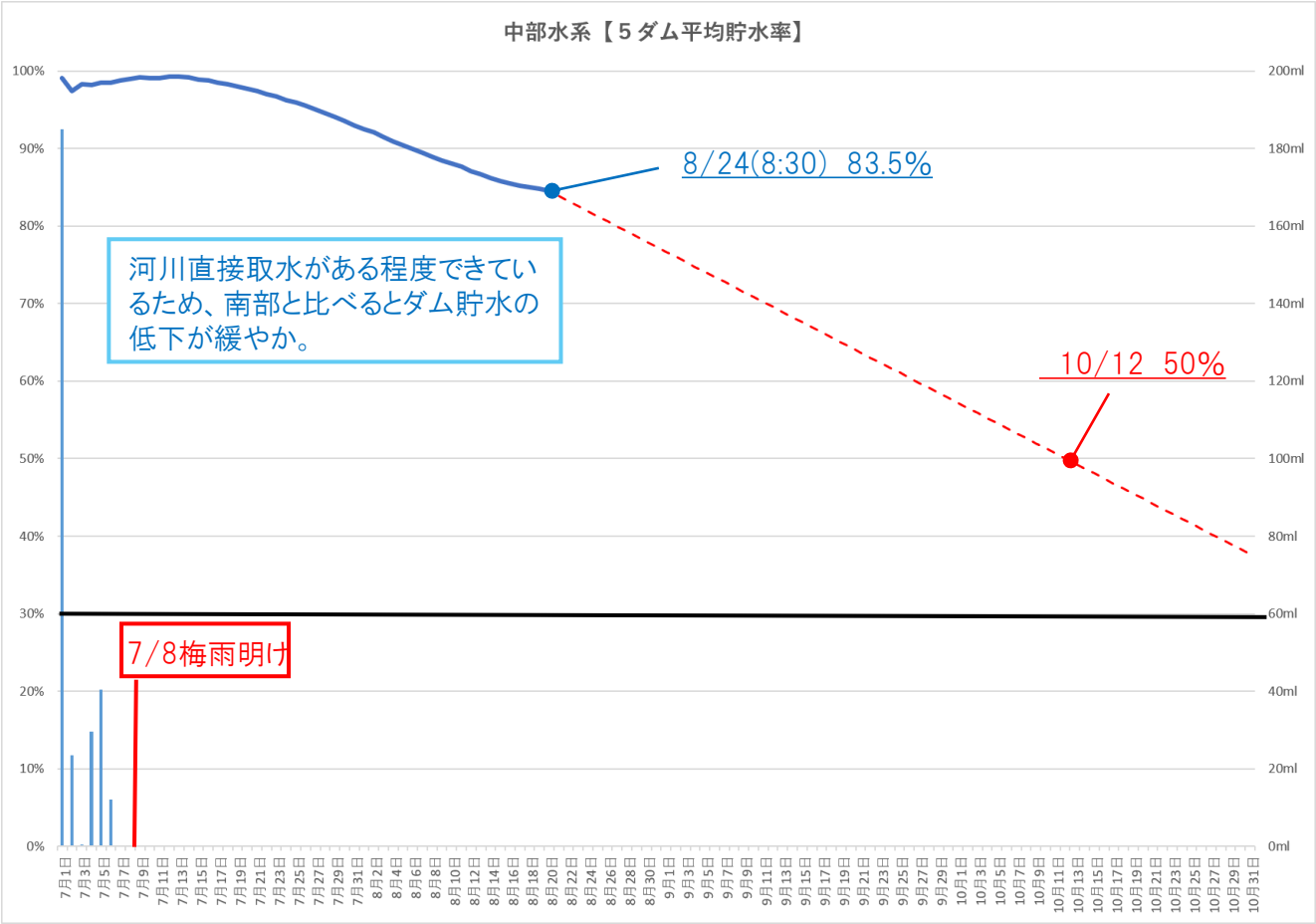
梅雨明け以降の下の原地点の降水量⇒
(合計2.5mm。昨年同時期は計394.5mm)

南部（下の原）	
7月8日	0
7月9日	0
7月10日	0
7月11日	0
7月12日	0
7月13日	0
7月14日	0
7月15日	0
7月16日	0
7月17日	0
7月18日	0
7月19日	0
7月20日	0
7月21日	0
7月22日	0
7月23日	0
7月24日	0
7月25日	0
7月26日	0
7月27日	0
7月28日	0
7月29日	0
7月30日	0
7月31日	0
8月1日	0
8月2日	0
8月3日	0
8月4日	0.5
8月5日	0
8月6日	0
8月7日	0
8月8日	0
8月9日	0
8月10日	0
8月11日	0
8月12日	0
8月13日	0
8月14日	0
8月15日	0
8月16日	0
8月17日	0
8月18日	1.5
8月19日	0
8月20日	0
8月21日	0.5
8月22日	0
8月23日	0

④中部水系の状況

中部水系には、山の田ダム、転石ダム、菰田ダム、相当ダム、川谷ダムの5つがあります。

下グラフは、5つのダムの平均貯水率を示したものです。梅雨明け以降の少雨により貯水率が減少しており、現状のままだと10月中頃に50%を下回る見通しです。



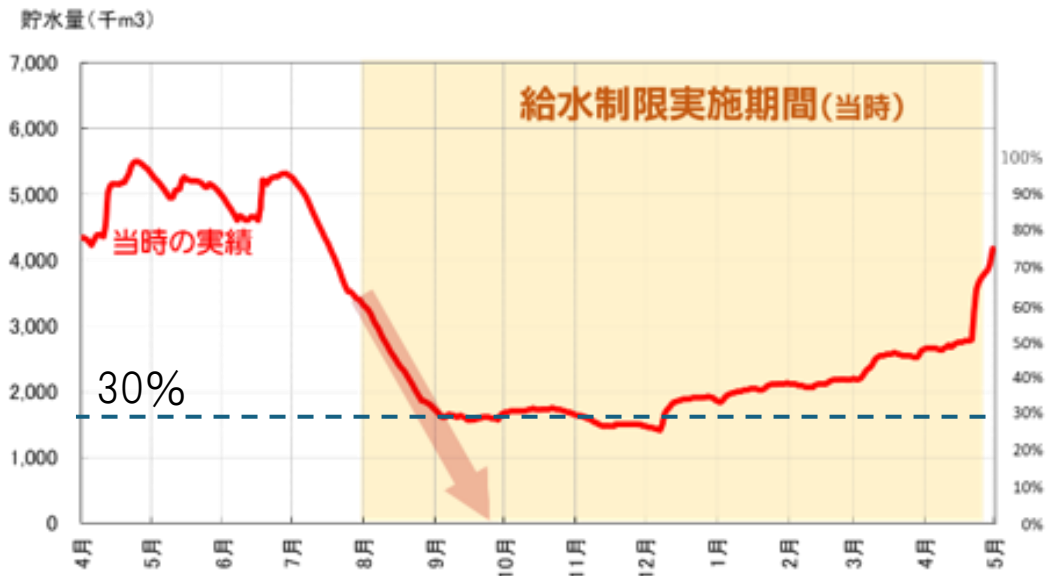
梅雨明け以降の山の田ダム地点の降水量⇒
(合計0mm。昨年同時期は計345.5mm)

	北部（山の田）
7月8日	0
7月9日	0
7月10日	0
7月11日	0
7月12日	0
7月13日	0
7月14日	0
7月15日	0
7月16日	0
7月17日	0
7月18日	0
7月19日	0
7月20日	0
7月21日	0
7月22日	0
7月23日	0
7月24日	0
7月25日	0
7月26日	0
7月27日	0
7月28日	0
7月29日	0
7月30日	0
7月31日	0
8月1日	0
8月2日	0
8月3日	0
8月4日	0
8月5日	0
8月6日	0
8月7日	0
8月8日	0
8月9日	0
8月10日	0
8月11日	0
8月12日	0
8月13日	0
8月14日	0
8月15日	0
8月16日	0
8月17日	0
8月18日	0
8月19日	0
8月20日	0
8月21日	0
8月22日	0
8月23日	0

⑤貯水率がいつの時点で何パーセントあれば良いのか？

一概に基準はありませんが、渇水状態でも医療や消火活動等、市民の生命にかかる最低限の活動は持続させる必要があります。
本市は水瓶が少ないことから、概ね30%を下回ると、このような重要な都市活動にも支障が生じるリスクを伴います。

平成6～7年の大渇水でも、約9ヶ月間の給水制限を行い、何とか30%を維持しました。



6月 梅雨

7月

8月

9月 秋雨・台風

10月

11月

12月

1月

2月

3月 菜種梅雨

↑

↓

少雨季

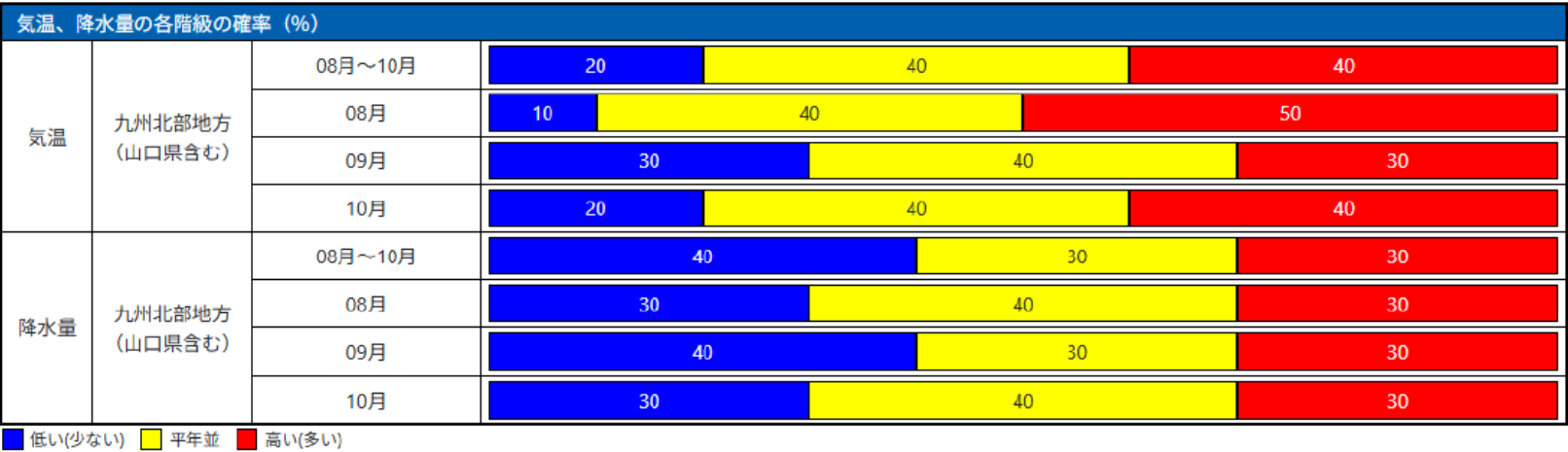
九州北部では、例年、まとまった雨が期待される時期が決まっています。
特に6月頃の梅雨と3月頃の菜種梅雨は、例年、まとまった降雨があり、秋雨や台風は、梅雨と比べると雨の確実性に劣ります。

逆に、秋口から冬場は雨が少ない時期が続きます。この時期を乗り越える必要があります、例年の8月～9月は100%に近い貯水率を維持しています。

現状は、秋雨や台風での雨を期待して、それまでの間、ダムの貯水率の低下を抑える必要があります。

⑥気象状況

気象庁の長期予報では、9月も雨が少ない傾向が続くことが示されています。



日本気象協会の予報では、向こう2週間は、
まとまった降雨の予報がありません。

(8/24 8:30時点)

日付	天気	気温	降水確率	降水量	
08月24日(月)	晴一時雨	35℃ 27℃	50%	0mm	+
08月25日(火)	晴	36℃ 26℃	20%	0mm	+
08月26日(水)	晴	37℃ 27℃	40%	0mm	+
08月27日(木)	晴のち雨	36℃ 28℃	60%	5mm	+
08月28日(金)	晴のち曇	35℃ 27℃	40%	0mm	+
08月29日(土)	晴時々曇	34℃ 26℃	40%	0mm	+
08月30日(日)	曇のち晴	33℃ 26℃	40%	0mm	+
08月31日(月)	曇のち晴	33℃ 26℃	40%	0mm	+
09月01日(火)	晴時々曇	34℃ 26℃	20%	0mm	+
09月02日(水)	晴時々曇	34℃ 26℃	20%	0mm	+
09月03日(木)	晴	32℃ 25℃	20%	0mm	+